

Human Feedback プロジェクト2025を東山動植物園と共同で開催しました！

3月22日（土）に東山動植物園にて、「Human Feedback プロジェクト 2025 -動物とヒトとの共存 そのために私たちに何が出来るか？」（主催：名古屋市立大学看護学部・SDGsセンター、共催：東山動植物園）を開催

しました。1995年から始まったこのプロジェクトは、「人の医療を動物に還元する」をテーマに東山動物園をはじめ全国各地の動物園と共に活動が続けられています。当日は、プロジェクトを企画した本学の尾崎康彦教授（看護学研究科）が総合司会を務め、特定非営利活動法人日本オランウータン・リサーチセンターの金森朝子副代表理事、久世濃子理事に野生オランウータンの食べ物について、その種類や繁殖との関係などをお話いただきました。講演会には多くの参加者で大盛況となりました。

※このプロジェクトは共創まちづくり研究推進事業の一環で開催されました。

▶ 共創まちづくり研究推進事業とは、大学提案型による行政課題・地域課題の解決を目指すもので、学内で公募した研究課題に名古屋市を始めとした多様な主体と連携・協働し、令和6年度より取り組んでいる事業です。



講演会の様子



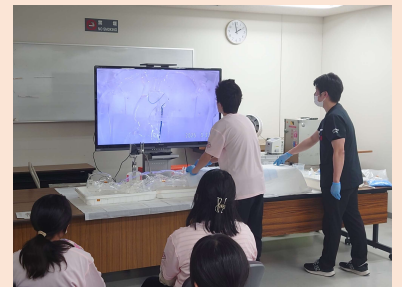
講演者の
金森さん(左)、久世さん(中央)

ひらめき★ときめきサイエンスを開催しました！

3月22日（土）に「ひらめき★ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～」を開催しました。本プログラムは日本学術振興会（JSPS）の科研費で行われている最先端の研究成果に、直に見る、聞く、触れることで、科学のおもしろさを感じてもらう小・中・高校生向けのプログラムです。

今回は中・高校生15名を対象に、医学研究科助教 篠原務先生より「心臓と血管の謎を解き明かせ！未来の科学者たちへの挑戦状」と題した講義を行いました。

参加者は聴診器による心音聴取や、人体模型を使ったカテーテルの体験などを通じ、最先端の研究を見て・聞いて・触れることで、心臓と血管の仕組みや役割についての理解を深めました。参加者からは「学校の授業より実践的で面白かった」「ますます科学への興味がわいた」「医者になりたいことを再確認できた」などの意見をいただき、未来の科学者たちへ自分の進路を考えるきっかけを提供することができました。



プログラムの様子

なごやみらいフェスティバル2025に初出展します！

4月26日（土）に吹上ホールにて開催される「なごやみらいフェスティバル2025」（主催：一般社団法人SDGsヒーローズ）に参加します。このイベントは、「私たちがつくる私たちの未来～SDGs×VTuber～」をテーマとし、様々な企業や団体の出展ブースのほか、食品ロスや生物多様性などSDGsに関連したテーマのゲームなどが行われます。

当日は、本学の曾我幸代准教授（人間文化研究科）がメインステージへ登壇するほか、出展ブースでは曾我ゼミ学生によるSDGsに繋がる行動を考えるワークショップを実施する予定です。

【なごやみらいフェスティバル2025について】

主 催：一般社団法人SDGsヒーローズ

日 時：4月26日（土）9:30～20:00(出展は17:00まで)

会 場：吹上ホール2階 第一ファッショ展示場

出展者：人文社会学部 曾我ゼミ

イベント詳細：<https://www.nagoya-mirai.com/>



過去イベントでのワークショップの様子



その研究活動もSDGs！未来に貢献してるんです！

おかげさまでVol.20を迎えたSDGs News Letterでは新たな企画として名市大の「研究活動」に目を向けてみたいと思います。本学は8つの研究科を擁する総合大学として多岐にわたる学術分野での研究活動が日夜行われています。実験、調査、観察など様々なアプローチを通じて「新しいこと」を見つけ出す研究活動は、SDGsのそれぞれのゴールともリンクし、未来を創る力となっています。



例えば薬学研究科での研究ひとつとっても、その対象や目的はさまざま。その活動はSDGsの目指すゴールにも幅広く関係しています。

ex.

- 創薬や医療支援にかかわる研究
→ ゴール3「すべての人に健康と福祉を」
- 次世代の薬剤師や研究者の育成のための研究
→ ゴール4「質の良い教育をみんなに」
- 医薬品に関わるマテリアル循環の研究
→ ゴール14「海の豊かさを守ろう」
- 地域の薬局との連携によって社会貢献する研究
→ ゴール11「住み続けられるまちづくりを」
→ ゴール17「パートナーシップで目標を達成しよう」

もちろん、それぞれの研究活動はSDGsを意識して行われているものばかりではありません。しかしだからこそ『**実は、その研究もSDGsと繋がっています！**』という視点で今後皆さんにご紹介していきたいと思います。

第1回はSDGsセンター長の林秀敏特任教授の研究をご紹介します！

『熱田湊の活性化プロジェクト』

※共創まちづくり研究推進事業にて採択

熱田神宮には年間約700万人もの人が訪れるが、その南に位置する無形有形の歴史伝統芸能文化が豊富に残る「熱田湊」は市内にも県外にもあまり深く浸透していない。地域の団体と連携し、様々な活動を通じて、かつての賑やかな「熱田湊」を再興し足を運んでもらい、地域活性化を目指すプロジェクト。

宮の浜おどり

どどいつ
「都々逸」の原型となった
熱田発祥の伝統芸能
どとうぶし
「神戸節」の再興・継承
を目的に、振りを創作し、
盆踊りとしたもの。
(9月には祭りを開催)



- ・地域の文化を活かした観光資源による地域経済の振興
- ・地域の伝統文化を継承し、地域コミュニティの活性化
- ・多様な団体の連携による持続可能な社会づくり

このように、一見SDGsと関連がなさそうな活動でも、視点を変えてみると、SDGsに深く結びついていることが分かります。



SDGsセンター長
林 秀敏 先生

お問い合わせ

名古屋市立大学SDGsセンター事務局
(企画課内)

〒467-8601 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄 1

Tel : 052-853-8806

Mail : ncu-sdgscenter@sec.nagoya-cu.ac.jp

<https://www.nagoya-cu.ac.jp/sdgscenter/>

